

## 令和5年度 東海・北陸地区国立大学法人等

### 技術職員合同研修（機械コース）参加報告

白川 博樹

#### 1. 研修期間・場所

期間 2024年8月30日（水）～9月 1日（金）

場所 金沢大学 角間キャンパス

#### 2. 研修（出張）目的

東海・北陸地区の国立大学法人等に所属する技術職員に対し、その職務遂行に必要な専門的な知識及び技術等を修得させ、技術職員としての資質の向上を図るとともに、職員相互の交流に寄与することを目的とする。

#### 3. 研修（出張）内容

8月30日（水） 開講式・オリエンテーション

講義「金沢大学総合技術部の紹介」

「実務者のための工作機械振動の見極め方」

「工作機械の最新動向について」

8月31日（木） 講義「金属3Dプリンタがもたらす『ものづくり』の変革に向けて」

「JAXA出向の経緯とその成果」

「走査型電子顕微鏡（SEM）の基礎 ～SEMで何ができるか～」

実習「Aコース CAD・積層造形技術」

「Bコース 地域貢献・機械加工」

「Cコース 走査電子顕微鏡（SEM）・機器分析」

9月 1日（金） 講義「軽くて強くてテイラーメイドな炭素繊維複合材料の作り方」

学内見学「技術支援センター ほか」

閉講式

#### 4. 所感

今回参加した研修は機械コースで、受講者のほとんどが工場・工業業務の担当者であったため実務レベルで有意義な情報交換や交流が行えたと思う。講義や実習の内容は実践的なものが多く、機械技術の知見が広がった。また金沢大学総合技術部の組織運営や職員全体の意識の高さを感じ良い刺激になった。



受講者集合写真